

令和 6 年度 第 7 回芳賀町学校運営協議会会議録			
日 時	令和 7 年 3 月 4 日（火） 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0		
場 所	町民会館 多目的室		
出席者	[学校運営協議会委員] 稲川浩司、岩崎 進、上野 奨、佐藤和洋、磯 孝、岩村智織、水田晴美、今西雅子、岡田由美子、中山このみ、小林春華、荒井一浩、齋藤裕美、北條麻美、迫田信子、小池正樹、森島規仁、中上川 了（協議会委員出席 1 8 名）		
	[芳賀中学校]（校長）津村勝之（教頭）高橋輝秋（地域連携教員）鶴見優希 [芳賀東小学校]（校長）大根田裕一（教頭）仙波茂夫（地域連携教員）高久 誠 [芳賀北小学校]（校長）高津健司（教頭）國井朱美 [芳賀南小学校]（校長）関本恵美子（教頭）永島寿一（地域連携教員）高岡知美		
	[教育委員会事務局] （学校教育課長）齊藤和之（学校教育係長）松本 薫 （学校教育課指導主事）涌井俊裕（学校教育課指導主事）那花和哲 （生涯学習課長）田中一紀（生涯学習課長補佐兼係長）吉葉康弘 （生涯学習課主査）小林春彦（生涯学習係主事）片桐綾乃		
司 会	小林春彦（議事進行）稲川浩司会長	書記	片桐綾乃
概 要	1 教育長あいさつ 2 学校運営協議会長あいさつ 3 協議事項（進行は稲川会長） （1） 本日の協議事項と流れについて（事務局） （2） 分科会 （3） 学校運営・教職員任用について意見のとりまとめ （4） 年間の振り返り 4 その他、諸連絡		
協議事項 1 開会 2 あいさつ（稲川会長） 前回に引き続いての熟議。前回は非常に楽しく和気あいあいと会議ができた。熟議の中から実際の活動に結び付いたものもあり、はじめにその報告をしていただく。また、今回も楽しく夢のある熟議となれば良いと思う。 3 協議事項（進行：稲川会長） （1） 本日の協議事項と流れについて説明（事務局） （2） 地域学校協働活動報告 【芳賀南小】「なんにもしない合宿」について 佐藤委員： 芳賀南小学校体育館にて実施。児童 2 2 名、大人 7 名が参加。 子どもも大人もあだ名をつけて呼び合った。 カードゲームやバドミントンなど、子どもから声を掛けて大人も一緒に遊ぶなど自由に過ごした。 就寝前に掃除の声掛けをしたら、自分から動いてくれた。 就寝30分前からワクワクしてみんな寝袋に入っていたが、なかなか寝付けない子もいた。 朝、起床後もお迎えが来るまでみんなで遊んだ。 大人が何もしなくても、子どもたちが自由に遊んだり進んで動いたりして、無事に合宿を終えることができた。 今後も活動予定あり。 【芳賀北小】「はがまるふるさと学校」について 大久保先生 昨年度に引き続き、「芳賀町を学ぶ」をテーマに 1 1 月 2 0 日実施。授業参観も兼ねていたため、保護者にも授業に参加してもらった学年もある。 全体の目標として、「昨年度からのものをより良くする」を掲げて企画した。			
オープニング		今年度お囃子クラブ設立し、L R T イベントにも参加した	

1年生	生活科 昔遊び	みなみの会にじに来ていただいた
2年生	音楽 郷土芸能	八ツ木お囃子会に教えていただいた 八ツ木お囃子会はコロナ禍で気運が下がっていたが、毎月学校で教えていただくことで活動も増え、お囃子会の皆さまにも喜んでいただけた
3年生	芳賀町で活躍する人々	農KER' S、森百貨店、阿久津さん（甲子園で審判経験あり）
4年生	社会 地域のお祭	地域のお祭りで太々神楽内容にもっと工夫ができればよかったという反省もあった
5年生	農業	授業で米作りをしていることもあり、ミニおにぎり作りをしたり、環境対策課に授業していただいたりした
6年生	SDG s	有限会社ドンカメの小久保さんに来ていただいたいき、講話を聞いて議論を深める学習をした

事業終了後、教職員、地域の講師、PTA役員、ボランティアで振り返りを兼ねた分科会を行った。時間をかけて活動を振り返り、ざくばらんに話げできた。
6年生のグループ議論から、町の人とも話してみたいという意見があり、ここで終わりではなく継続して子どもと大人の話し合いの場を作れないかという話があがった。学校運営協議会の形や会長のお名前をお借りして、合議制のある話し合いの場を作る方向で検討したい。

(3) 熟議

(4) 各学校からの発表

【芳賀東小】

高久先生： P T A 歓送迎会や謝恩会をやらない時代になった。
運動会で感謝の会を実施し、地域の方に競技にも参加していただいて日頃の感謝を伝えた。
学校内（多目的ホールの一角など）にお茶のみスペースができれば、気軽に地域の方に来ていただけるのではないか。そこで、地域のボランティアと子どもたち、先生が交流できる場になれば。
今年の8月研修会のような、学校外で地域の方と先生が話合える機会があれば嬉しい。
先生“が”地域と仲良くなるためには、先生を地域に連れ出す、先生のゆとりの時間を設けないと難しい。
地域の方は学校に呼んでももらえればうれしい人はいっぱいいる。学校を中心とした年中行事や地域と合同で防災訓練や収穫祭などのイベントができた方がいいのでは。

【芳賀北小】

大久保先生 先生が地域にどんな人がいるのかを知らない、保護者間でも同じ学年の保護者と子どもが一致しないことがあり、繋がりが弱くなっているのが課題。
その理由として、学習発表会や運動会などの行事に地域の方に入っていただくことが減ったことがあるのではないか。しかし、以前と同じように行事を実施するのは難しい。
北小では、はがまるふるさと学校を中心に考えていくことが継続してできる現実的な手段ではないか。
今回、給食で地域の方に出していただいた食材で梨カレーを作った。もっと地域の方に入っていただく工夫を考えたい。また、先生達が地域にでていくきっかけや研修にもなるのではないか。徐々に先生と地域の方の交流が増えてきたおかげで、はじめは会釈程度の挨拶だったが、ちょっと話をしたり、先生のキャラクターがわかったりしてきた。分科会も2回行ったが、お話だけでなくゲームやアイスブレイクのようなものを入れてみてもいいかもという意見があった。
今は地域の方に学校に来ていただいているが、今後は生徒や先生が地域に出るということも考えていきたい。

また、大人のはがまる学校で、ワイン講座などで地域の方と先生と一緒に学ぶ場があってもいいかもという意見があった。

【芳賀南小】

永島先生：卒業したらきっかけがないと生徒も保護者も学校に入りにくい。
卒業生を運動会に招待するなどの意見が出たが、連絡手段が課題となる。卒業生が入れるライングループや同窓会のようなもの、インスタなどができると卒業後の繋がりもできるのではないかと。その他の意見として、次のようなものが上がった。

- ①運動会の卒業生対抗種目
- ②地域を巻き込んだ盆踊りなどの学校行事
- ③なんにもしない合宿により広い世代をまきこんでいく
- ④勉強できる自主学習スペースを小学校に作ると利用してもらえるのでは

【芳賀中】

鶴見先生：芳賀教育事務所の事業の一環で、「しゃべり場」という中学生が自主的に何かボランティアができないかという話し合いを行っている。
中学生からは、子どもと一緒に遊びたいという意見があり、それも踏まえて次のようなボランティアに参加するのはどうかという話し合いをした。

- ・与能自治会の夏祭りの手伝いに中学生が参加したらどうか
- ・はが路マラソンの手伝い
- ・制服リユースの手伝い
- ・防災訓練を地域と一緒に

また、学校運営協議会以外に地域の方と教員でお菓子を持ち寄って話す場を作ってみたい。

(5) その他

4 事務連絡

- ・公式LINE登録について
試運転中であるが、通知やお知らせなどの連絡をさせていただく可能性があるので、ご登録お願いします。
- ・第6回分科会（学校関係者評価）学校ごとの日程
 - 芳賀東小 令和7年2月12日（水）
 - 芳賀北小 未定
 - 芳賀南小 令和7年2月14日（金）
 - 芳賀中 令和7年2月13日（木）
- ・第7回学校運営協議会について
令和7年3月4日（火） 18時～20時 芳賀町民会館多目的室
※第6回、第7回会議の詳細については、後日改めて通知でお知らせいたします。

5 閉会